



八鶴だより 9月号

令和元年9月1日発行

〒283-0802 東金市東金1410番地

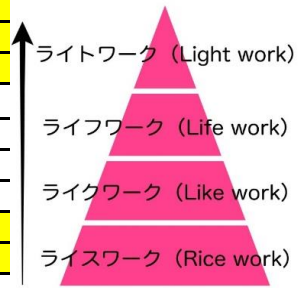
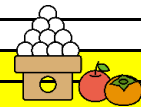
☎0475-54-1581

発行 千葉県立東金高等学校 定時制 教務部

夕食
○ 有
△ 先
/ 無

今月の行事予定

| 日 | 曜 | | 夕食 |
|----|---|----------------|----|
| 1 | 日 | | / |
| 2 | 月 | 始業式、避難訓練 | / |
| 3 | 火 | 授業開始 S.C | ○ |
| 4 | 水 | | ○ |
| 5 | 木 | 八鶴祭準備 | △ |
| 6 | 金 | 八鶴祭(校内) | / |
| 7 | 土 | 八鶴祭(一般公開) | / |
| 8 | 日 | | / |
| 9 | 月 | (9/7振替休業) | / |
| 10 | 火 | S.C | ○ |
| 11 | 水 | | ○ |
| 12 | 木 | 校内生活体験文発表会 | ○ |
| 13 | 金 | キャンドルナイト(特別日課) | / |
| 14 | 土 | | / |
| 15 | 日 | | / |
| 16 | 月 | 敬老の日 | / |
| 17 | 火 | S.C | ○ |
| 18 | 水 | | ○ |
| 19 | 木 | | ○ |
| 20 | 金 | | ○ |
| 21 | 土 | | / |
| 22 | 日 | 秋分の日 | / |
| 23 | 月 | 振替休日 | / |
| 24 | 火 | S.C | ○ |
| 25 | 水 | | ○ |
| 26 | 木 | | ○ |
| 27 | 金 | | ○ |
| 28 | 土 | | / |
| 29 | 日 | | / |
| 30 | 月 | | ○ |



1 「働き方改革」

最近、ニュースなどで、このことばをよく耳にします。今月は、「働き方」について考えてみました。

働き方は人それぞれです。業種・職種・正社員・契約社員等、それぞれが様々な立場で仕事をしています。働く意味も人それぞれです。生きるために働いている人。働くことが楽しい人。働くことがつらい人。趣味や好きなことが仕事になっている人。みなさんは、どうでしょうか？次に代表的な働き方を4つに分類して考察したいと思います。

なお、今月の記事は私が7月中旬にテレビで観たサカナクションの山口さんのインタビュー番組がヒントになっていることをお断りいたします。

①ライスワーク rice-work

ライスは、食料としてのお米をイメージしています。物を食べて生活するために仕事をするということです。例えば、嫌な仕事やつらい仕事であったとしても、我慢して自分の時間を提供する仕事です。

②ライクワーク like-work

「好き」を仕事にすることです。芸能人やスポーツ選手等です。好きなことで仕事をしているからと言って生活が安定するかは別問題です。

③ライフワーク life-work

生涯にわたって働くことです。ライクワークとライフワークがイコールになっている状態です。自分の使命と思える仕事です。しかし、生き生きと仕事して、稼ぐことができるかどうかとは別です。

④ライトワーク light-work

人に社会に、光を当てる仕事をするということです。世の中を良くする・困った人を助けるといったことが仕事につながるということです。

みなさんは、どの「働き方」に当てはまるのでしょうか？自分の価値観で、感じ方、考え方、働き方は、多様だと思います。最初から納得できる働き方ができる人も、途中で気が付いたら、納得できる働き方ができる人も、自分の納得できる働き方ができない人もいます。古代ギリシャの哲学者ソクラテスの言葉に、「生きるために食べよ、食べるために生きるな」という言葉があります。約2400年前の言葉ですが、現代にも通じると思います。2学期のスタートに当たり、「働き方改革」では、私たちが、自らの「生き方・行き方」を考えることが大切であることを伝えたいと思います。(秋山)

2 今月の言葉

滴水嫡凍

てき すい てき とう



【出典】碧巖録

中国の仏教書。10巻。宋の圓悟克勤(えんごくこん)著。1125年成立。

「滴水」は水がしたたること。「嫡凍」の「嫡」はすぐにといい意味で、「嫡凍」はすぐに凍るという意味です。滴る水が間をおかずに凍る寒さということ、厳しい修行の緊張感にたとえた言葉です。みなさんの学校生活は、ある意味「修行」という側面もあるかと思えます。「令和」最初の夏休みが終わり、2学期がいよいよスタートします。行事・就職・進級・卒業など、みなさんの目標に向けて、一瞬たりとも無駄にせず、テキパキと学習に取り組ましましょう。